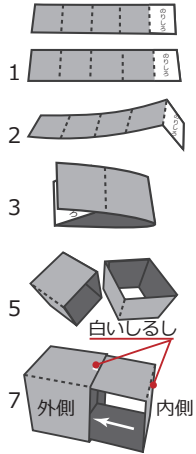


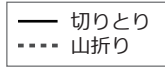
春夏秋冬の昼と夜：立方体地球儀

2本の帯を組み合わせて4つの立方体の地球儀を作ります。
日本が夕方にある時の3月、6月、9月、12月の地球の昼と夜の分布です。

== 作り方 ==



1. 実線を切り、2枚の帯に切り取る
2. 「のりしろ」の左側の点線で山折にする
3. そのまま、半分に折る
4. 「のりしろ」を貼り付ける
5. 広げて、残りの2つの点線も山折にして四角い筒を作る
6. もう一つも同じように
7. 白いしるしがつながるように向きをそろえて「内側」の筒を「外側」の筒に差し込む



== 遊び方 == 『それぞれの季節での地球の場所は？』

1. 中央に太陽マーカーを置き、それを囲むような上下左右に、北極が描かれている面を上にした地球を置く。(図1)
この時は、どの地球を上下左右のどの場所に置いてもいい。
2. それぞれの地球儀を、昼側が太陽の方向を向くように回転させる。(図2)
3. 上の面での北極点の位置が、4つの地球で全部同じ位置にそろっていなければ、2つの地球の場所を置き替えて同じ向きにそろえる。(図3)
4. 答え合わせ：反時計回りに3月→6月→9月→12月の順番になっていれば正解。下の面を見て、何月の地球か確認する。
地球は同じ傾きのまま、北から見下ろした場合に反時計回りに太陽の周りを公転しています。



図1

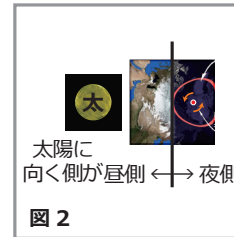
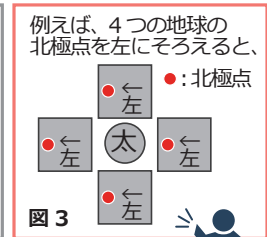
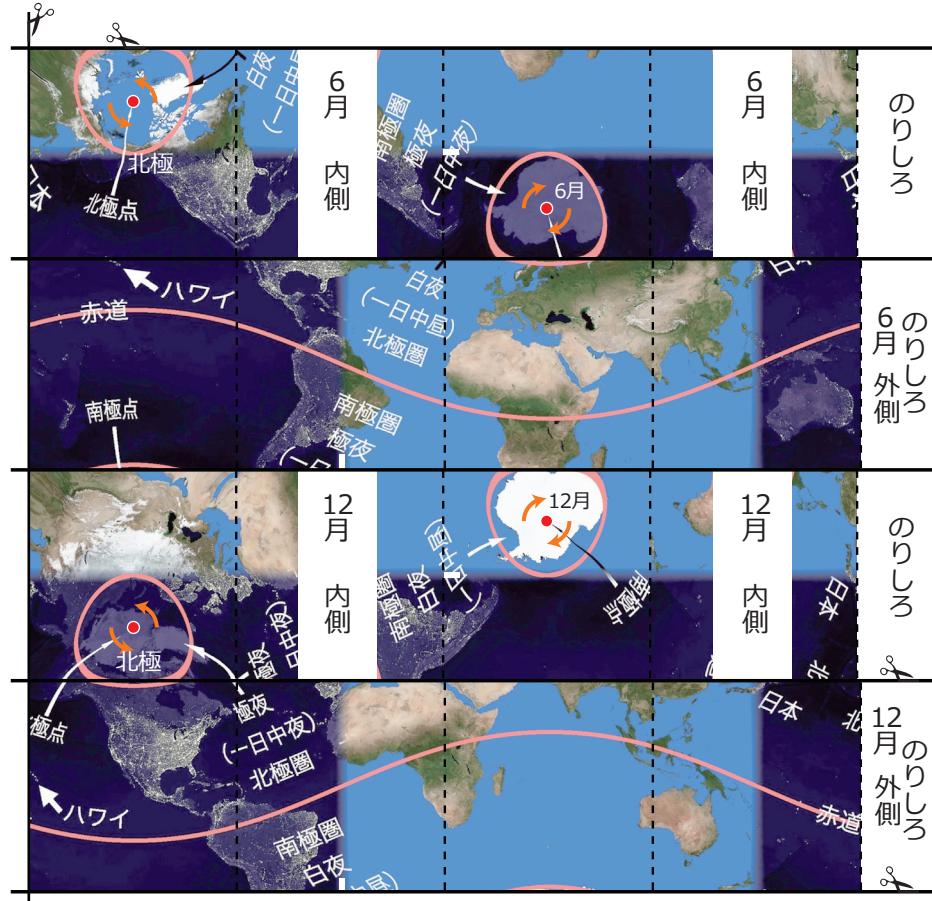
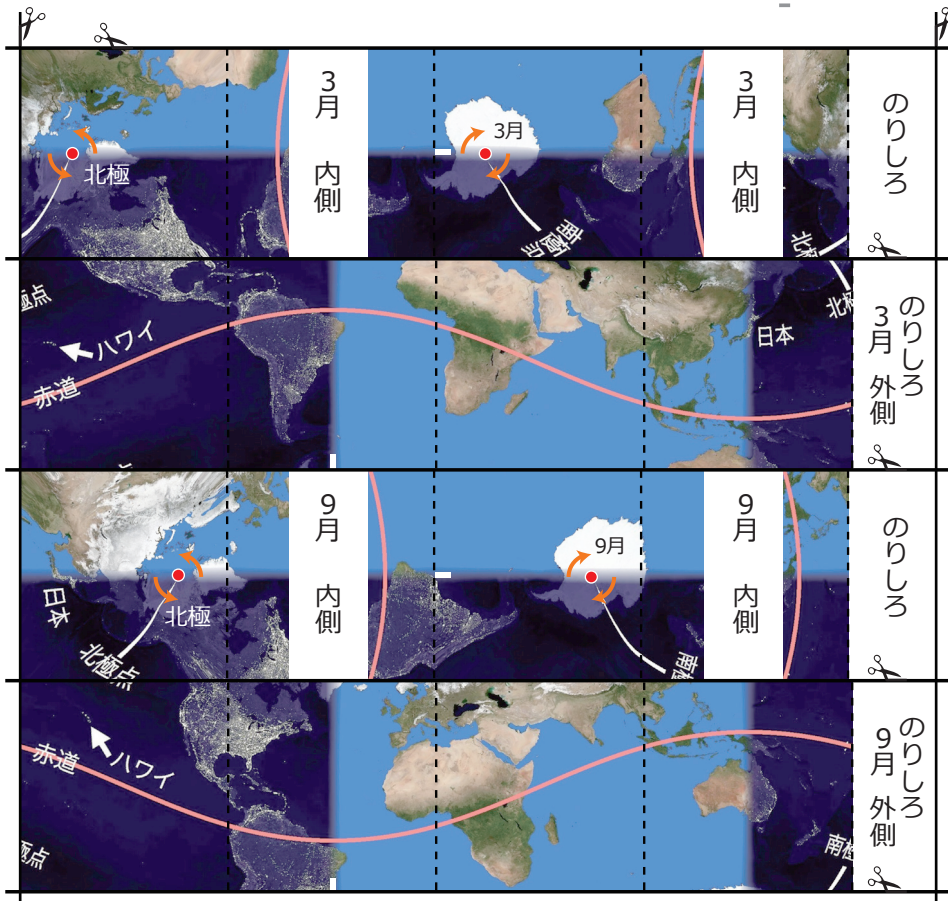


図2



例えば、4つの地球の北極点を左にそろえると、



北極が上で、太陽側は昼、北極点の位置を同じように配置、と...できた？

「地球の昼と夜」のダジック・アースでの表示は以下の「地殻・地球内部」から



<http://dagik.org/dow/>
パソコン、スマホなどのWebブラウザでご利用いただけます。

